



# クールな女兵士

# と 下衆貴族

なかなか締まった身体をしているじゃないか

っ…!!

こうだ？  
ええ？

…っ!!  
くそっ!!  
だまれっ  
も、漏ら  
いきなり

かなり  
たからでっ…♡

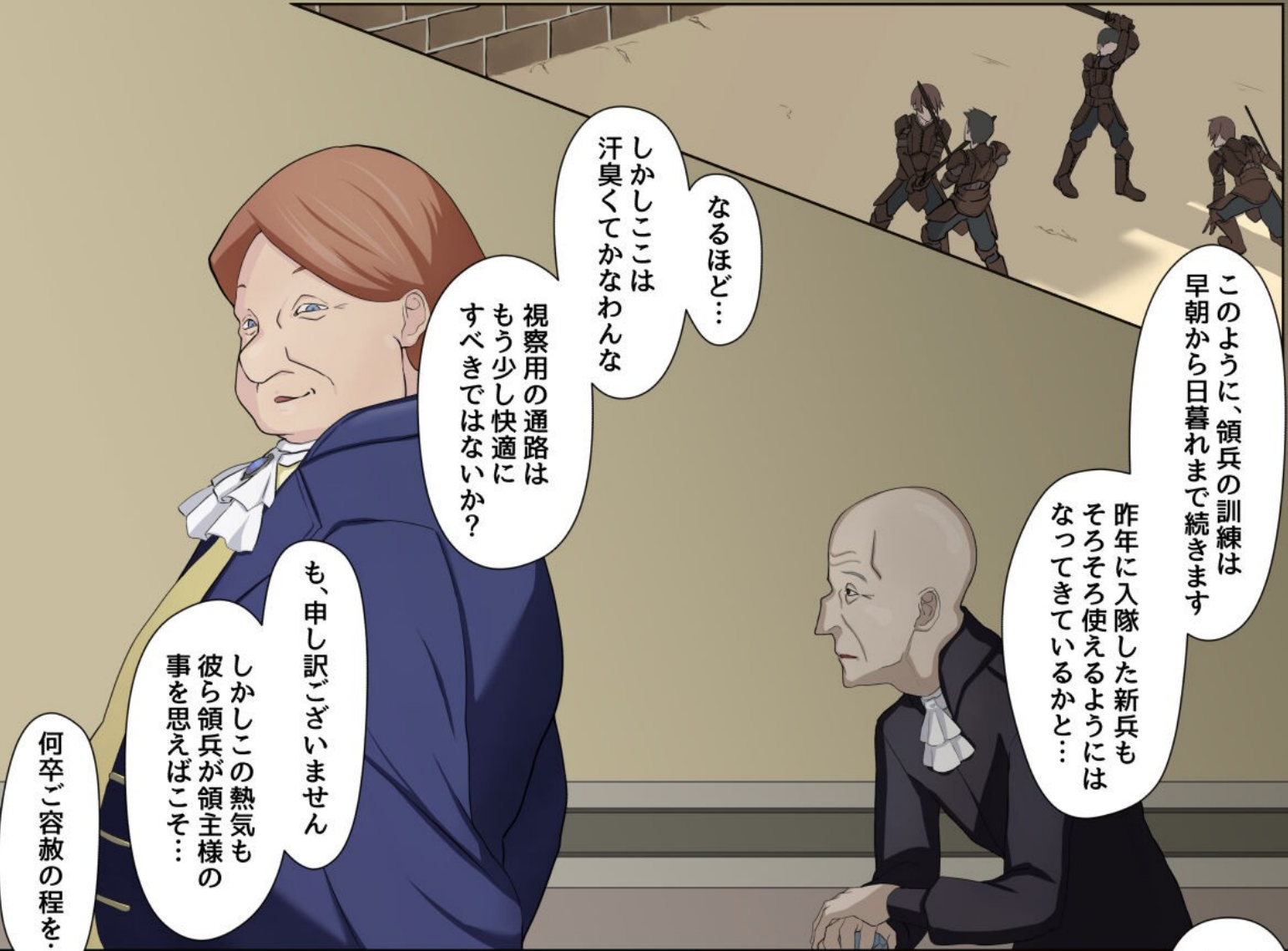
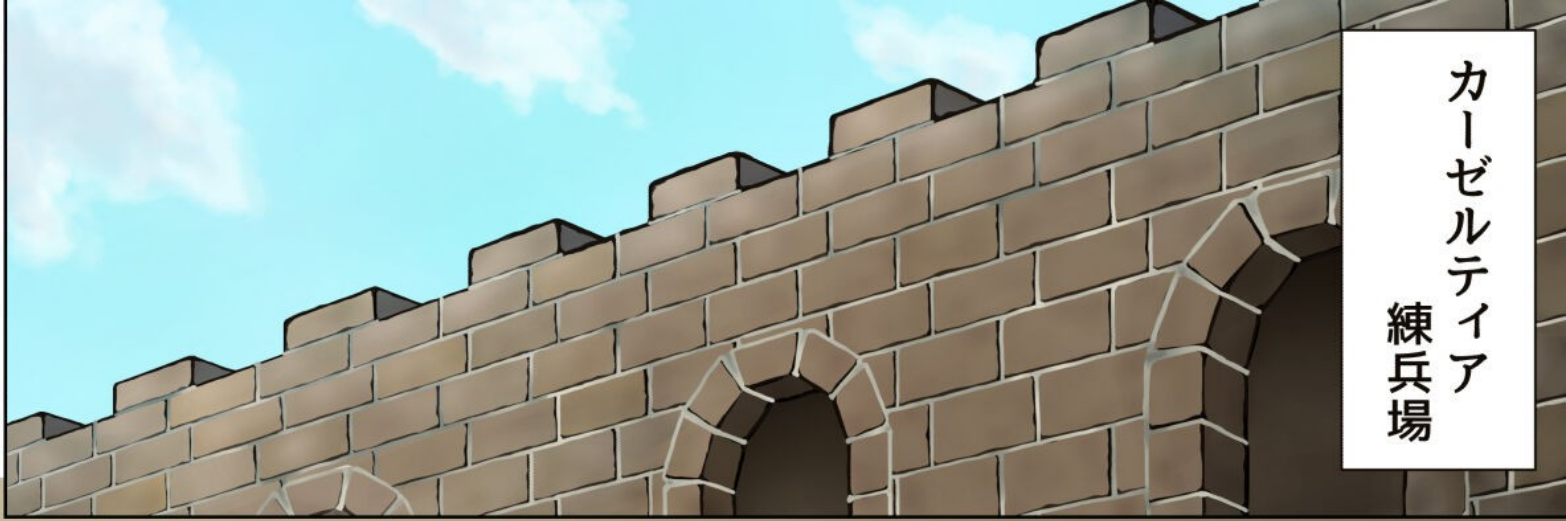
…これ  
面白

…これ  
面白

締ま

R-18  
AdultsOnly

カーゼルティア  
練兵場



このように、領兵の訓練は  
早朝から日暮れまで続きます

昨年に入隊した新兵も  
そろそろ使えるようには  
なってきたのかと…

なるほど…

しかしここは  
汗臭くてかなわんな

視察用の通路は  
もう少し快適に  
すべきではないか？

も、申し訳ございません

しかしこの熱気も  
彼ら領兵が領主様の  
事を思えばこそ…

何卒ご容赦の程を…

この通路を使うのが  
平民だけならば  
構わんのだがな…

…ん？

女の兵士も  
いるのか？



ああ：そういえば  
新兵の中に一人  
女の入隊者が  
おりましたな：

珍しかったので  
覚えております

確か家族が衰病に  
侵されているとかで  
その治療費を稼ぐ為に  
入隊を志願したのだとか

すぐに音を  
上げるものと  
考えておりましたが

報告によりますと  
どうにもそれなりに  
優秀なようでした

先日行った模擬戦でも  
他の兵士達より良い成績を  
収めておりました

上官からの評価も  
悪くはなかったかと  
記憶しております

：しかし  
彼女がどうか  
いたしましたかな？

いやなに  
大したことではない

女だてらに剣を  
振っておるが  
中々良い器量を  
していると思つてな

は、はあ  
左様でございますか

…  
あとであの兵士に  
私の所へ来るよう  
伝えておいてくれ

っ！それは…

…そう慌てるな

心配せずとも  
悪いようにはせん

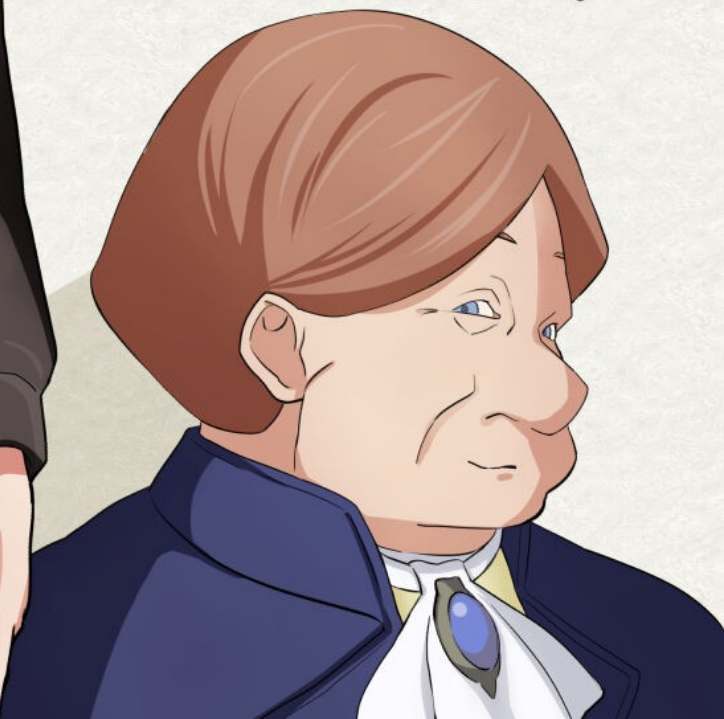
コン  
コン  
コン

ご主人様

領兵のクレア様を  
お連れしました

入りましたまえ

がキヤッ



…クレアと申します  
お初にお目に  
かかります領主様

…そう固く  
ならずとも良い

何も罰しよう  
という訳ではない

君を呼んだのは  
単に話を聞きたためだ

なにしろ先ほど  
初めて領軍にも  
女の兵士がいると  
知ったところだな

どうかね？  
女の身で兵士というのは  
きつい仕事だろう？

…いえ

特に不便などは  
感じておりませんので…

フツ

そうかね？  
それは頼もしい  
ことだな

まあとりあえず  
そこに掛けたまえ





君も一杯  
どうかね？

タルピア地方で  
作られたワインだ

平民では一生  
飲めないような  
代物だぞ



…いえ  
結構です

私は酒は  
嗜みませんので



…そうか  
酒は好みではないか

勿体ないな  
これほどのワインは  
相当に珍しいんだが…

いや、規律正しいのは  
兵士としては良い資質か

…けれどもどれだけ  
規律正しい兵士であっても  
人間である以上は  
何かしらの欲があるものだ

おい、あれを  
持ってきなさい

ゴッ



それは？



こちら

アッ

これは最近我々のような  
貴族の間で話題になっている  
ラディーサの雫という薬液でね

なんでも王都の  
とある高名な薬師が  
調合したそうだが

驚きなのはその価格でな  
この小さな薬液一つで  
金貨が三枚も溶けていく



しかも病を治す為には  
これをひと月以上  
飲み続けねばならんと  
いうのだから…

薬効は確かだと  
証明されているのだが  
この値段では庶民には  
到底手が届かんだろうな…

はあ…

そうでしょうね

興味がないかね？

それとも自分には  
関係のない話だと思  
っているのか？

まあそれも  
仕方ないことだ

…そういう薬効について  
まだ話していません

このラディーサの雫で  
治るのはいわゆる  
衰病と呼ばれる病だ

っ…!!  
どうしてそれを…

…最初に私は君の話を  
聞きたいだけと言ったが

君がどうしても  
頼むのならば  
薬をやっても良いぞ

…そういう薬  
君の家族も衰病に  
侵されている  
らしいじゃないか

もちろんその対価は  
ただ座って話をする  
だけではないがね…

ほう  
鍛えているだけあって  
なかなか締まった身体を  
しているじゃないか



どうだ？  
上官のモノはもう  
啜えこんだのか？

ほう、まだなのか  
存外領兵も真面目だな

っ…！  
そんなんっ…！

けれども奴らも  
想像の中では  
君を犯している筈だぞ



なにせ軍に女は  
珍しいからな  
心当たりは  
あるんじゃないか？



ほれ  
手を頭上で組んで  
立ったまま  
脚を開きなさい

まあ何れにせよ  
これからしばらく  
その身体は私のものだ

…



ははッ  
やはりあるか

っ……

…悪趣味な

それにこの男が  
約束を守る保証  
なんてどこにも…

なんだその目は？  
私が約束を破ると  
思っているのかね？

私は貴族だ

君の様な平民に  
そのような目で  
疑われるのは  
正直不愉快だよ

…けれど

もし本当に薬が  
手に入るのなら…

それほど心配せずとも  
君が従順である限り  
約束を違えたりはせんよ

随分と悩んで  
いたじゃないか

もちろん君が私の  
命令に応じなければ  
話は変わってくるが…

分かっています  
けれど、もし…

…もし約束を守らなければ  
私は貴方を許しません

ハッ

そんな格好で  
何を言ってもな

けれども  
その口のきき方は  
看過できない

おい、あれを

こちらだ

不思議そうな  
顔をしとるな

…鞭？

この鞭はな…  
君の様な生意気な女を  
躡ける為のものだ

とある有名な職人に  
わざわざ作らせた代物でな

本来ならば  
馬に使うものを  
人の折檻に適した  
形へ調節している

何度か試したが  
二、三度叩かれただけで  
皆子供のように泣き叫ぶよ

兵士であれば痛みにも  
慣れていようが…  
これは想像以上だろうな

…ん？

全く無礼な女だ  
人の話は真面目に…

…っ！  
わ、噛まれたっ…？  
くそっ…  
私だつて好きで  
こんな格好している  
訳じゃないっ…！！

フ  
フツ

聞け

イッ…!

アッ…♡

…や、やばっ!  
いきなり  
叩かれたからっ…  
も、漏れるっ♡

だめだっ!  
我慢しろっ♡  
こんなっ…  
こんな格好で  
漏らすなんてっ…

ガク

ガク

が、我慢しろっ!  
こんなの  
たいしたことないっ  
我慢っ、ガマンっ♡

がっ…まんっうう♡

っ…むりっいっ♡♡

アッ…♡  
アッ…♡  
アッ…♡  
アッ…♡

んん?  
漏らしたのか?

口汚い上に堪え性まで  
ないとは…  
呆れたものだな





♡  
フッ

♡  
フッ

♡  
フッ

つぎ……♡  
うきっ……♡  
これっ……きっ……♡

つあ……♡

おい  
誰が手を下げて  
いいと言った?

私は許可して  
いませんぞ?

……  
兵士と言っても  
やはり女か

そんな事では  
とても軍の訓練には  
付いていけないだろう

いっそ兵士などより  
娼婦の方が向いている  
のではないか?

つぐう……♡  
くそっ……!  
か、勝手なことをっ……!

こんなっ……!  
こんなの  
耐えるなんてっ……♡

む、むりに決まっ……♡



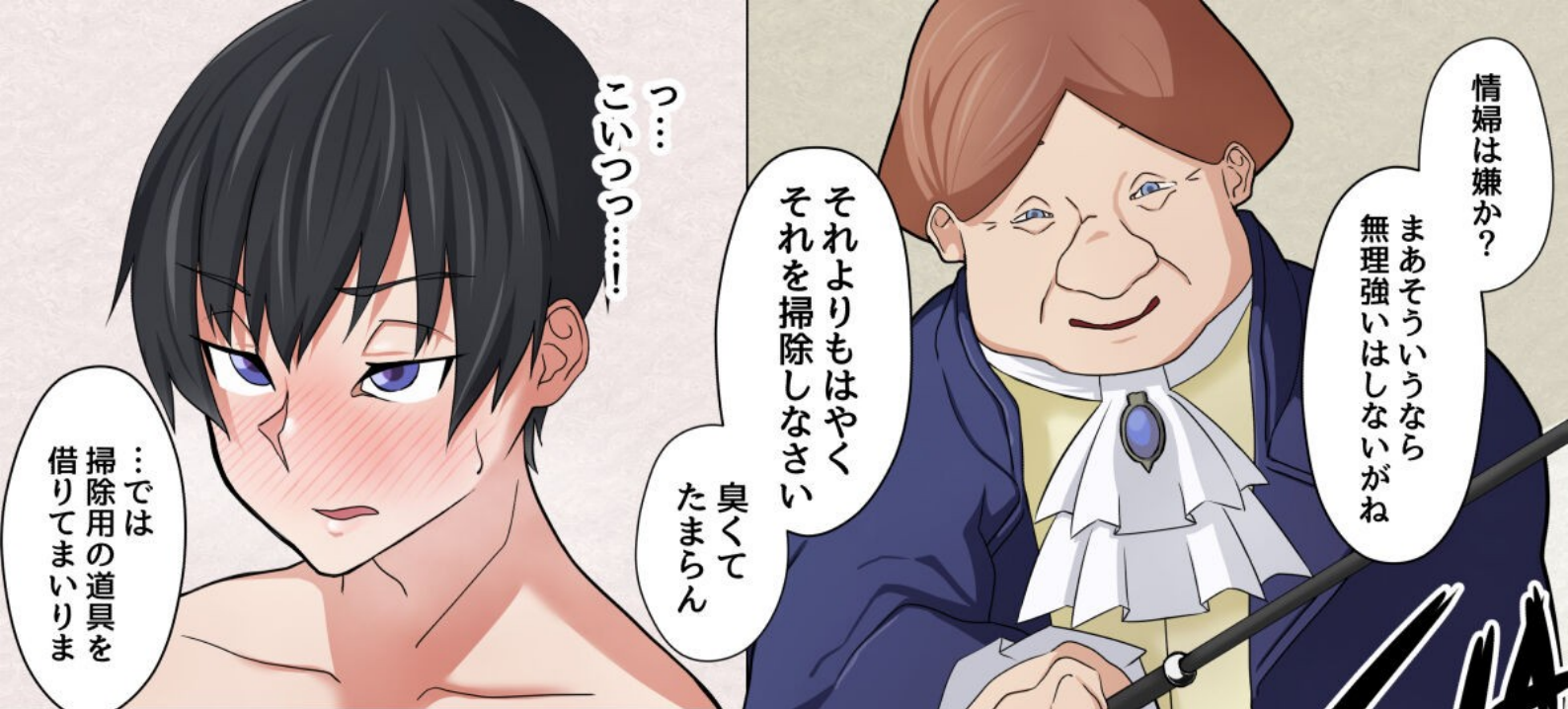
何なら私が情婦として  
困ってやっても良いぞ?

飽きるまで  
その身体で遊んでやろう

どうだ?

……っ  
ふざけるなっ……!

……お  
お断りします



情婦は嫌か？

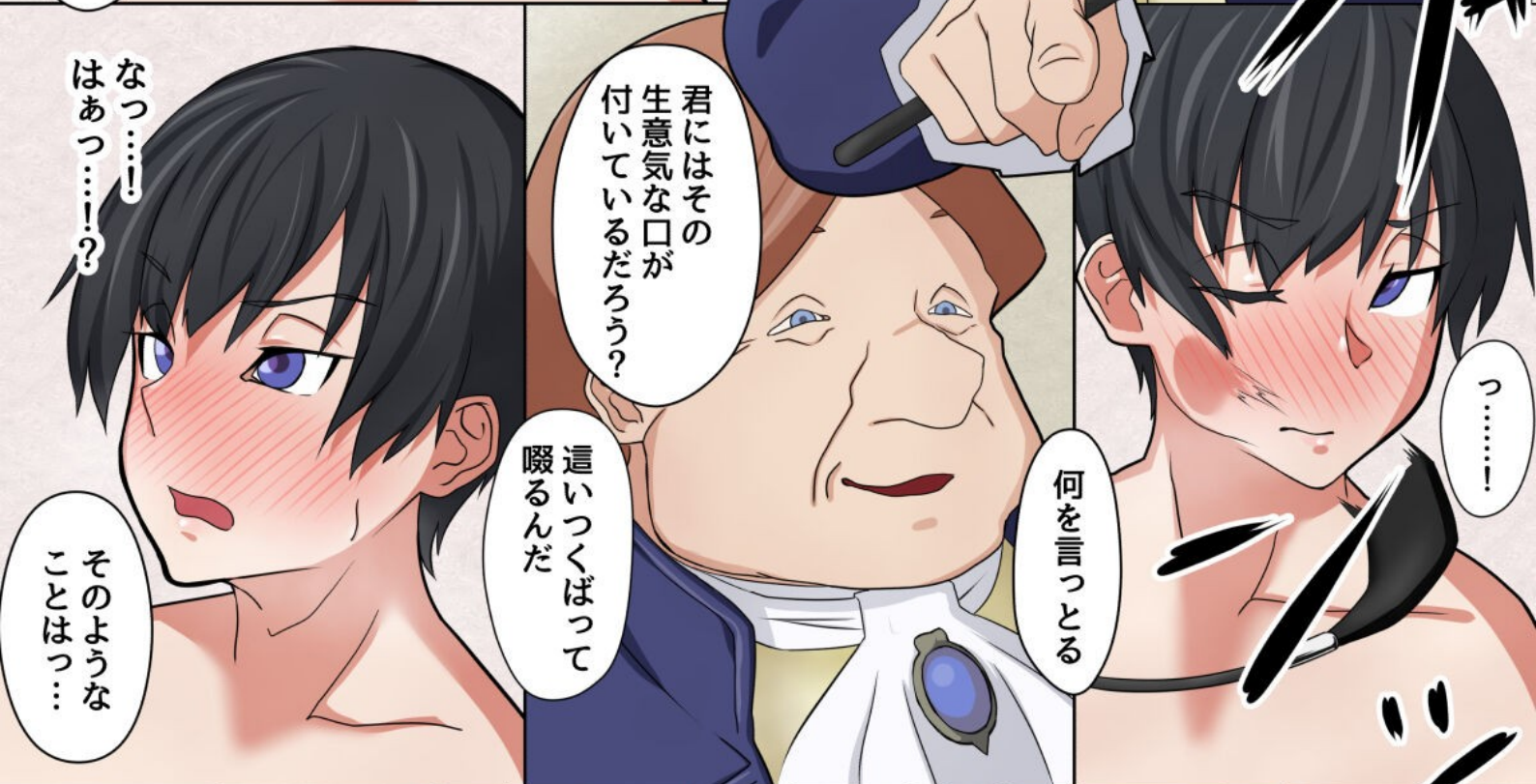
まあそういうなら  
無理強いはしないがね

それよりもはやく  
それを掃除しなさい

臭くて  
たまらん

っ…  
んんんん…!

…では  
掃除用の道具を  
借りてまいりま



っ…!

何を言っとる

君にはその  
生意気な口が  
付いているだろう？

這いつくばって  
囁るんだ

なっ…!!  
はあっ…!?

そのような  
ことはっ…



出来ないか？

どうしても  
出来ないというのなら  
このまま帰っても良いが…

そうすると当然  
約束もなかった  
ことになるぞ？

家族より自らの  
プライドを優先するのも  
分からなくはないがね

っ…!!  
何が分からなくはないだ  
この変態野郎っ!  
足元を見やがって…

…っ  
こんなっ…!  
自分のっ  
自分の小便をっ…!♡



おっと

尻はこちらに  
向けなさい

それと脚も  
開いておくように

でないとならば  
叩きづらいからな



っ...!

ギッ

どこまでっ...

どこまで人を  
虚仮につ...!



フハハッ

こうして見ると  
間抜けな格好だな

と言っても君の様な  
生意気な平民には  
お似合いの格好だが...

自分の立場は  
理解できたかね?

所詮平民など  
我々貴族の  
玩具でしかないのだ

それを理解したなら  
とつとつその汚いのを  
綺麗にしなさい

んんん♡

ひん♡

ひん♡

キーン♡

キーン♡

ぞん♡

ぞん♡





物は試しだ

私が具合を  
確かめてやろう

鍛えている女は  
締まりが良いと  
聞いたことはあるが…

君の穴は  
どうだろうな

そら

しっかり締めろ…



よ

ツラッ…♡♡♡

♡♡♡  
♡♡♡  
♡♡♡

♡♡♡  
♡♡♡  
♡♡♡

♡♡♡  
♡♡♡  
♡♡♡

♡♡♡  
♡♡♡  
♡♡♡

♡♡♡  
♡♡♡  
♡♡♡

…生意気な女だが  
穴の具合は  
口ほど悪くないな

少々きつすぎる  
気もするが…

ハッ  
ハッ  
ハッ

こここれっ…♡  
おつきき♡  
おつきすぎっ…♡

む、むりっ♡  
むりだこれっ♡

おつきすぎでっ♡  
押し潰されっ…♡

…それにしても  
腰すら動かさんとは

そんなことでは  
兵士だけでなく  
娼婦も務まらんぞ？

自分から  
動いてみろっ！

っ…♡  
こんな状態でっ…  
そ、そんな…  
できるわけっ…♡

でもやらないと…  
…くそっ♡  
こんな男にっ…♡

ほれっ！

びんっ♡

おめ♡

おめ♡

おめ♡



待ってだと？  
この平民風情が！

ツ…♡♡

私に指図  
するんじゃない！

これだから  
平民という奴は

言われた事すら  
満足にこなせんのか

こいつつ…♡  
こんなつ  
こんな体勢でつ…♡♡

…これでは本当に  
ただ穴として  
使うしかないな

抑え込まれてつ♡  
抜け出せないつ…♡♡

仕方がない

先ほどのように  
また私が動いてやろう

腰が振れずとも  
声は出せるだろう

私が動いて  
やっとするのだから  
礼のひとつぐらい  
口にせんか！

こんな下衆のつ  
下衆のなんかでっ...♡  
気持ちよかつ...♡♡♡

ほら言えっ！

あぎっ♡♡♡

おおっ♡  
おおっ♡  
おつき♡♡♡

イクっ♡イクてるっ♡♡

おっ♡  
おっ♡  
おぐっ...♡♡

...あ、ありがとう  
っぎい、ますっ♡

そんな声量では感謝なぞ  
感じられんぞっ！

声が小さいわ  
馬鹿者っ！

...こんなのっ♡  
こんなの知らないっ♡  
こんな気持ちいいのっ♡♡

ああっ♡♡

なんでっ♡  
なんでこんなにっ♡  
気持ちいいのっ♡♡  
おっ♡♡  
またイグっ♡♡



私はまだ一度しか  
射精しておらんぞ？

っあ…♡♡♡  
キョホッ♡

おいおい

何を呆けて  
いるんだね？

ビチャ♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

…みんなの下衆♡  
私はこんな  
こんな下衆にはっ♡♡♡

す、すごい…♡  
こんなに大きいのが  
私の膣内につ…♡  
挿入ってっ…♡♡

見ろ

お前の愚図穴のせいで  
こんなに汚れて  
しまったじゃないか

さあその口で  
綺麗にしなさい

クッ♡

ハッ♡

ハッ♡

屈しないっ♡

絶対っ…♡

キョ♡

私が射精すまでに一体  
何度イクつもりだね？

もっとしつかり腰を  
動かさんといつまで  
たつても終わらんぞ？

おぐっ♡  
…も、申しわけっ  
っおお♡♡♡

…先ほどから  
そればかりではないか

使えない女だな  
そんなことでは  
薬はやらんぞ？

おお…っ♡  
も、申しわけっ  
ございませんっ♡

本当に使えない女だ  
こんな愚図穴は  
舐けてやらねばな

あぐっ♡  
ふ、踏まないでっ  
おあっ♡♡♡

指図をするなど  
いっところだろう！

使い物にならない穴など  
いっそのまま  
踏み潰してやろうか？

ああっ♡  
申しわけっ…  
もっ、もう…  
おぐっ♡♡♡

なんだ？  
踏みつけられて  
イっているのか？

心底浅ましい  
女だな、ええ？

や、やめっ  
おっ♡イグっ♡  
またイグっ♡

おい

締めりが悪くなってきたぞ  
もっ腹に力を入れんか

おおっ♡おぐっ♡  
おっ♡おっ♡  
おおっ♡♡♡

返事もできなく  
なったのか？

…兵士といつても  
ただの女と大差ないな

おおっ♡  
おぐっ♡おっ♡♡

んあっ♡

妙に甘えてくる  
ではないか

品性の欠片もない  
ような顔をして…

使つてやるから  
もっ腹内を締めて  
私に媚びろ

…んっ♡  
んっ♡んおっ♡

…やればできる  
ではないか

どれ、褒美だ  
舌を出しなさい

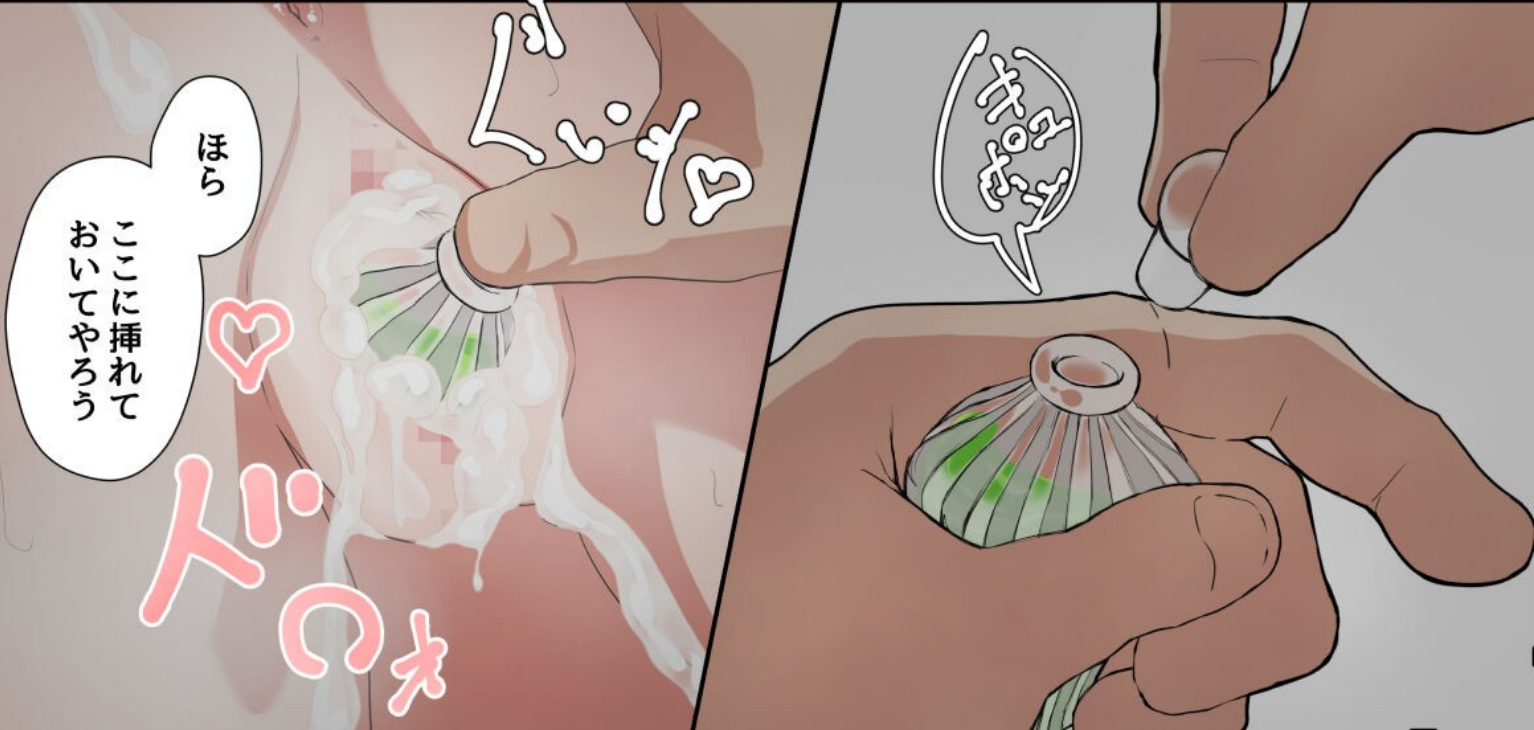
んっ…♡♡  
んっ♡♡♡



…ん？  
もう夜明けか

少し張り切り  
すぎたな

…そういえば  
薬を渡す  
約束だったか



ほら

ここに挿れて  
おいてやろう

びくびく

びくびく

次の薬はまた明日…  
いや、もう今日か？

どちらでもいいが  
その際にまた君が  
私に従えばあげよう

ド  
ゴ  
ゴ  
ゴ

心配しなくても  
数は十分に  
揃えてあるからな…



ユーク…？

そんなところで寝るなんて…  
待っててくれたのか



キ  
イ  
イ  
...



ん…

姉さん…?

おはよう  
今帰ってきたの？

あ、ああ  
急にその…

く、訓練が  
長引いて、な

そ、そんなことより  
ベッドで寝ないと  
病気は良くなるぞ？

はははっ

心配しすぎだよ

姉さんの方こそ  
訓練で疲れたでしょ？

今日は僕が朝ご飯  
作るから姉さんは  
休んでてよ

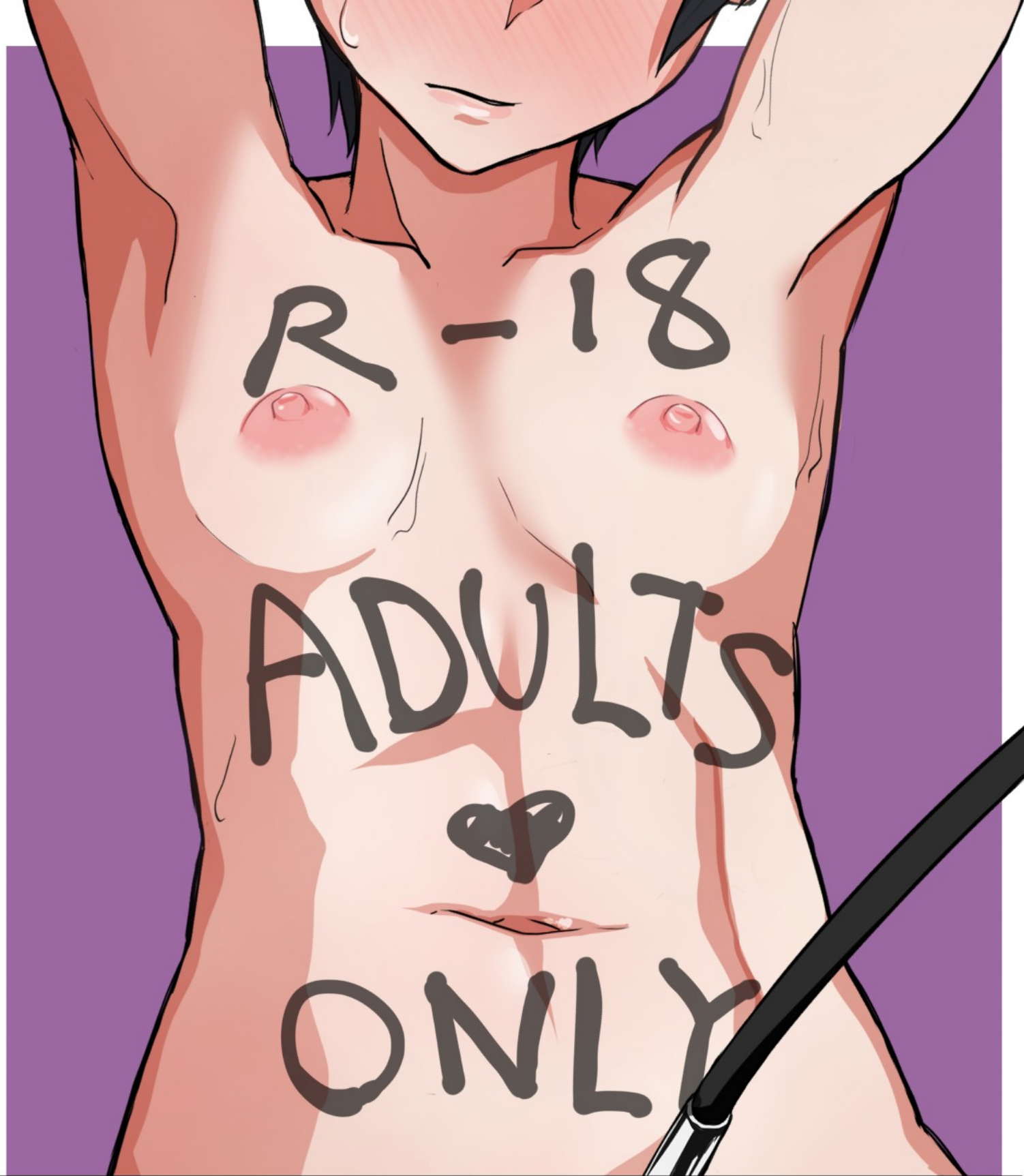
…っそ、そうか  
ありがとう

…そ、その前にな  
ユート…お、お前に

…お前に渡す  
ものがあるんだ…

グッ





誌名 クールな女兵士と下衆貴族  
著者 西鷺めん

18歳未満の方の購入、閲覧を禁止します。  
この本はフィクションです。実際の人物や団体などには一切関係ありません。  
この本の内容の一部または全部を無断で複製、複写、転載することを禁じます。